

第54期 中間報告書

平成27年4月1日▶平成27年9月30日



GMBREPORT

■ 株主の皆様へ

TO SHAREHOLDERS

海外売上増加するも大幅減益。厳しい経営環境が続くなか、グループ一丸となって収益性改善に注力。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、第54期(平成27年4月1日~平成28年3月31日)上半期の中間報告書をお届けいたします。

当期の上半期における経済状況は、わが国においては、企業収益の改善や設備投資の増加による緩やかな回復傾向も停滞感がみられるようになりました。海外においては、米国経済が堅調に推移する一方で、中国の経済成長の鈍化が鮮明となり、世界的な景気への悪影響が懸念されております。また、自動車業界においては、中国をはじめとする新興市場の需要の減速感があるものの、世界規模では緩やかな拡大基調を継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは、新車用部品市場において中国や欧州拠点からの販売を増加することができました。補修用部品市場においては、日本からの海外市場への輸出が増加しましたが、競争の厳しい米国市場では苦戦いたしました。収益面では、新拠点の立ち上げコストに加え、海外

拠点の人件費などの固定費増加や、日本における輸入コストの上昇やタイにおける輸取出引の採算悪化などの為替変動の影響も受けました。

この結果、上半期の業績は、売上高が35,353百万円(前年同四半期比11.6%増)、営業利益は440百万円(同59.7%減)となり、経常利益は467百万円(同48.8%減)、さらに税金費用が増加するなどした結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は114百万円(前年同四半期は340百万円の利益)となりました。

このような厳しい状況に対して、グループ一丸となり、不採算取引の見直しやコスト削減策を一層強化し、安定的な収益を維持できる体制に改善してまいります。同時に新製品の開発と販路拡大に取り組むことで新たな収益源の確保に努めてまいります。

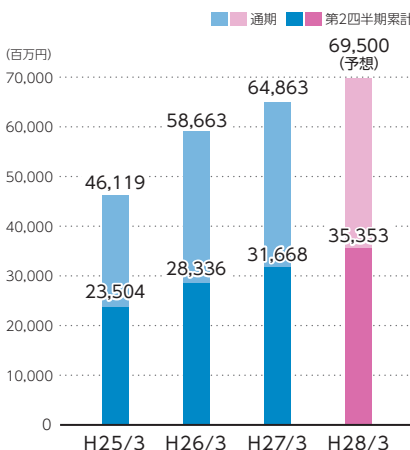
代表取締役会長 松岡 信夫

代表取締役社長 阪口 有一

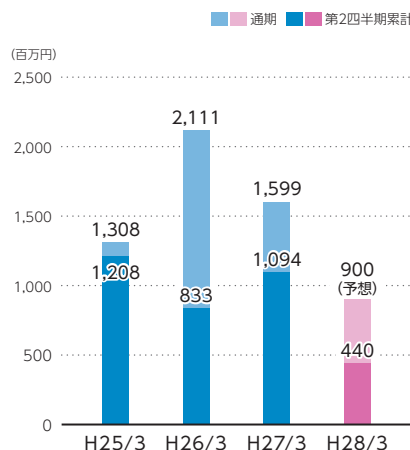
■ 財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

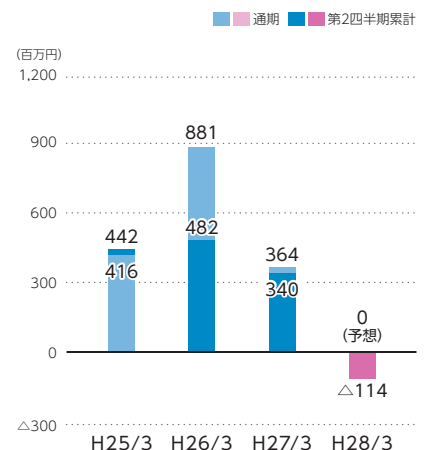
● 売上高



● 営業利益



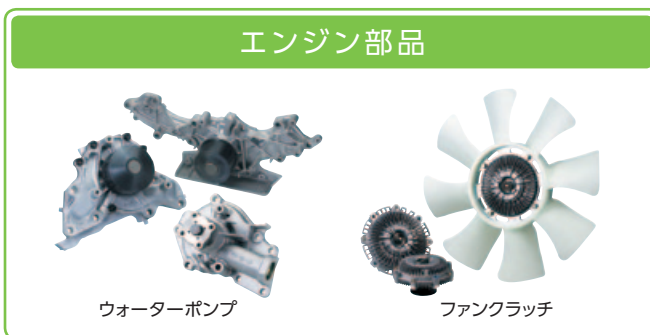
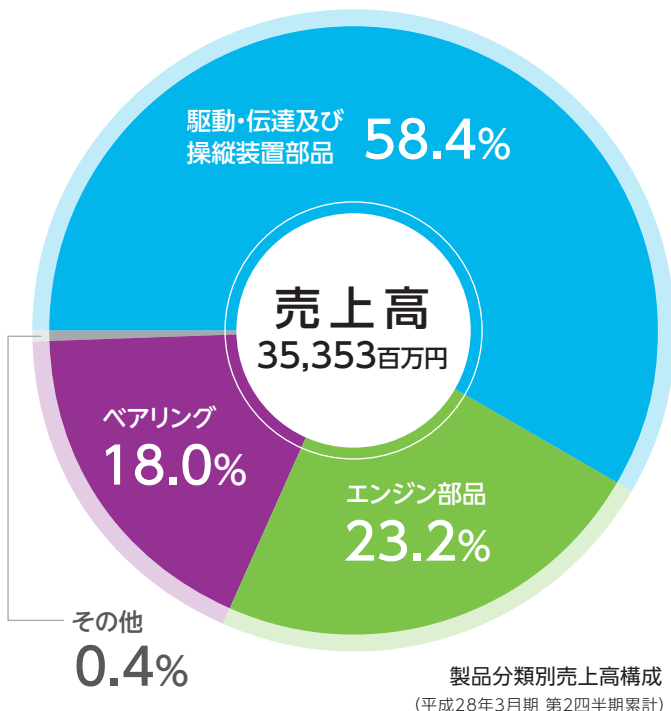
● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△損失)



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益(△損失)」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△損失)」としており、前連結会計年度までの四半期(当期)純利益についても科目名を統一しております。

GMBの製品展開

GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車部品と補修用部品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成27年9月30日現在	前期末 平成27年3月31日現在
流動資産	38,236	37,143
固定資産	31,681	31,083
資産合計	69,918	68,226
流動負債	26,356	25,454
固定負債	12,556	11,637
純資産合計	31,004	31,135
負債及び純資産合計	69,918	68,226

POINT

上半期は、韓国・中国の生産拠点の生産能力の拡充を中心に、約25億円の設備投資を実施いたしました。

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	前第2四半期累計 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
売上高	35,353	31,668
営業利益	440	1,094
経常利益	467	914
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	△114	340

POINT

海外補修用部品市場での厳しい価格競争に加え、海外拠点の人件費などの固定費の上昇や為替変動の悪影響などにより、営業利益は前年同四半期比で59.7%減少しました。

● 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	前第2四半期累計 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
営業CF	△364	1,629
投資CF	△2,668	△2,171
財務CF	1,030	1,353

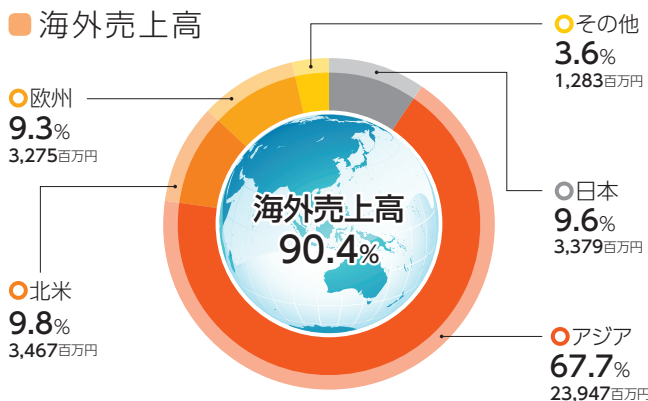
POINT

売上債権やたな卸資産の増加などにより営業キャッシュ・フローが悪化し、設備投資も増加したため、借入金による資金調達と現預金の取崩で対応しました。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期純利益(△損失)」を「親会社株主に帰属する四半期純利益(△損失)」としており、前第2四半期連結累計期間の科目名についても統一しております。

GMBは生産・販売ともにグローバルに事業を展開しています。

GMBは独立系の自動車部品メーカーとして、いち早く海外展開を進めながら、製品によっては世界トップレベルの量産規模を誇るまでに成長しております。海外のグループ生産拠点を有効活用して、グローバルでタイムリーな製品供給ニーズに対応することができます。

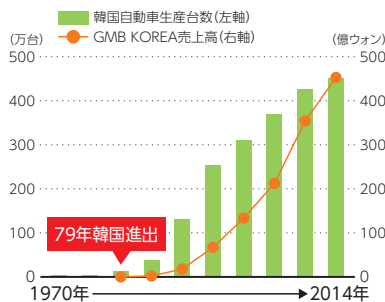


(平成28年3月期 第2四半期累計地域別売上高)

韓国自動車業界との強固なつながりを構築

GMBは韓国車メーカーが本格的に国内生産を開始する黎明期である1979年に韓国工場を設立。その後、自動車産業の発展とともに、韓国内の自動車メーカー、部品メーカーとの取引を拡大し、強固な関係を構築しております。韓国最大グループである現代・起亜自動車グループへの売上高は連結売上高の36% (2015年3月期) に達しております。

韓国自動車生産台数と韓国子会社の売上高推移



(出所: 韓国自動車工業協会)

海外補修用部品市場でGMBブランドを確立

海外では、車の年間走行距離も長く、一台を長期間使用することが当たり前であり、日本に比べて自動車部品の交換頻度が高く、道路や水などの過酷な使用環境の途上国などでは、故障も発生しやすくなっています。GMBはそのような海外での交換需要にいち早く目を向け市場を開拓し、ユニバーサルジョイントやウォーターポンプといった修理交換用部品の専門メーカーとして、着実に海外でのブランドを確立してきました。



海外自動車部品ショーでの出展・商談風景

欧州進出でグローバル展開を加速

近年取引が拡大している欧州向け新車用部品の更なる拡大を目的に、ロシアとルーマニアに欧州地域としては初めての生産拠点となる新会社を昨年設立しました。ともに、現地の完成車メーカーに対して、ウォーターポンプの供給をスタートしています。特にルーマニア工場は巨大な欧州市場に対する供給拠点として、活用していく計画です。

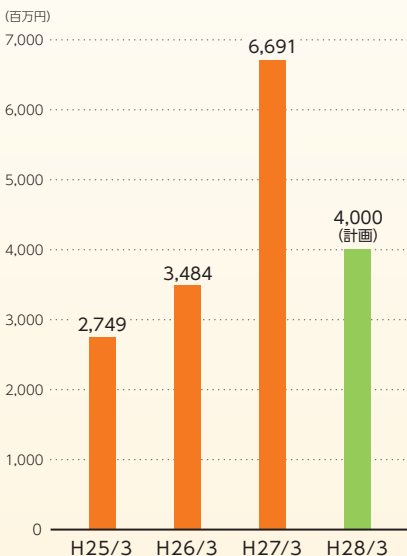


GMB RUS TOGLIATTI LLC

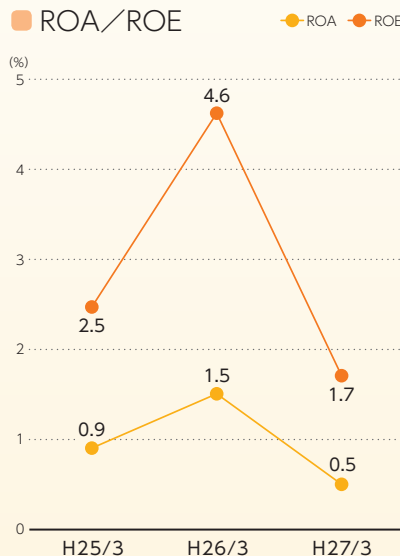
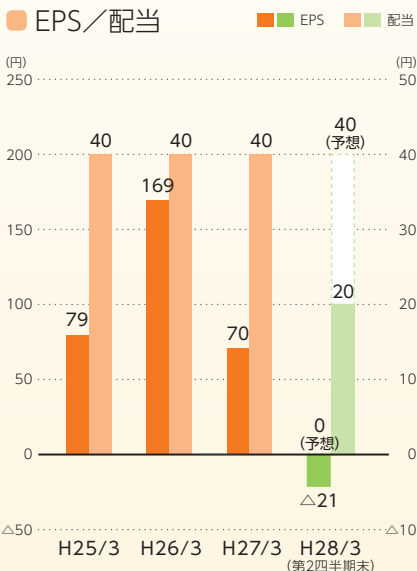


GMB ROMANIA AUTO INDUSTRY S.R.L.

設備投資の状況



配当および経営指標

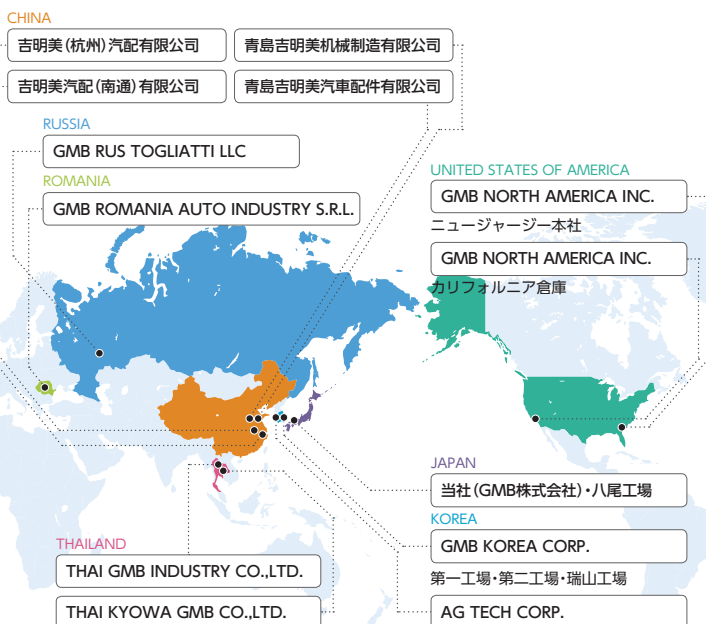


会社概要 (平成27年9月30日現在)

COMPANY PROFILE

商号 GMB株式会社
 会社設立 昭和37年5月
 資本金 838,598,000円
 代表者 代表取締役会長 松岡信夫
 代表取締役社長 阪口有一
 従業員数 連結 2,837名 単体 371名
 事業所 本社・奈良工場
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930
 Web Site <http://www.gmb.jp>
 八尾工場
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番3号
 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)997-2481

GMBネットワーク



ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報がご覧いただけます。

▶ <http://www.gmb.jp>



株式の状況 (平成27年9月30日現在)

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 19,000,000株
 発行済株式の総数 5,212,440株
 株主数 2,563名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 光子	416,375	8.0
松岡 栄子	240,350	4.6
GMB従業員持株会	194,070	3.7
松岡 百合子	146,625	2.8
松岡 弘枝	122,500	2.4
松岡 祐広	120,000	2.3
松岡 祐吉	99,125	1.9
金本 順子	98,750	1.9
具 綾子	80,000	1.5

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.gmb.jp>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)
 証券コード 7214

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。